

郷土住者ってどんなひと？  
南相馬の  
カッコいい  
おとな手帖



埼玉県 → 南相馬市

# おとな手帖

No.04

この場所だからこそ

より挑戦することが求められる



今回のカッコいい大人

き な み た か ひ ろ  
**木南 貴裕さん (27)**

埼玉県羽生市生まれ

お仕事 小高区役所  
**地域振興課**

移住歴 2018年～

18歳

大学卒業まで実家暮らし。東京都内の大学へ通う。

22歳

南相馬市役所へ就職。社会福祉課へ配属。

25歳

小高区役所  
地域振興課へ異動



災害の緊急対応時には、地図を広げて情報を整理する



万が一に備えて、平常時には倉庫の備蓄品管理を行う





## 木南さんに Q & A 聞いてみた!



### Q1. なぜ南相馬市役所に就職しようと思ったのですか?

**A.** もともと父が公務員でした。仕事を意識し始めた時期に真っ先に頭に浮かんだのがこの仕事です。都内にある大学で医療経済を学んだ後、公務員になるために、地元である埼玉県や都内の自治体など、さまざまな地域の説明会に行っていました。都内で行われていた説明会の中に東日本大震災での被災3県の合同説明会があり、「合同」に珍しさを感じて足を運びました。

南相馬市のブースに立ち寄った際に震災から5年間は人が住めなかったことや、6年経っても常磐線が全線開通していない状況に衝撃を受けました。それまでは南相馬市のことをよく知りませんでした。復興の課題をあらためて知り、応募を決意。もともと人の役に立ちたいという思いがあったので、より人の助けがいくところに行きたいと、南相馬で働くことを決めました。

### Q2. 実際に南相馬市で働いてみての感想を教えてください。

**A.** 南相馬市、特に小高区に来て現地の人と話すうちに、ここを良くしようとする人達がたくさんいることに気づき、おもしろい地域だなと思いました。今の自分の担当は消防団や防災に関する業務です。デスクワーク以外の仕事も多く、フットワークの軽さが重要などところにいるんだと感じますね。

以前はインドア派だったのですが、小高に来てから車に乗って地域のイベントやおもしろい施設に行くことが増えました。いろいろな事に興味・関心が湧くようになったとも言えます。

これからも小高区に親しんでいくために地域の方々との距離を縮めて、その方々の声を拾いたいです。あと、甘いものが好きなので南相馬の甘いものを一通り食べたいですね。



わたしが記事にしました!



高野 真帆  
原町高校 2年

## 編集後記

今回のインタビューで感じたことは、木南さんの「南相馬市に対する期待」です。仕事以外に、プライベートでも地域に寄り添う人がいることに大変嬉しくなりました。私も南相馬市民の一員として真正面から南相馬に向き合っていきたいです。



（木南さんの暮らし・仕事について  
さらに詳しく！）

Webサイトの記事はこちら→



My favorite Minamisoma  
南相馬のお気に入り

鈴木屋の  
あんみつ風白玉抹茶パフェ

SUZUKIYA's ANMITSU-FU SHIRATAMA MACHA Parfait

甘いものが  
大好きです!



鈴木屋さんのスイーツをよく食べに行きます。パフェの種類が豊富なんですが、一番よく頼むのが「あんみつ風白玉抹茶パフェ」。特別感があって、忙しい業務をやり終えた後、ご褒美に食べに行きます。

OKINIRO

移住者ってどんなひと？  
南相馬の  
カッコイイ  
おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前な環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、蒔田志保、高野真帆、藤木千尋、猪狩ひより

Designer：高木市之助

Photographer：白土亮次

南相馬で自分らしい暮らしを  
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→

